



第2回

住所整理地区市民検討会

～矢野口・東長沼・百村京王線以南地区～

稲城市 都市建設部 まちづくり再生課

次第

1. 各町名の由来（大字・小字）
2. 矢野口・東長沼・百村京王線以南地区の現状
3. 住所整理の検討パターン

各町名の由来 (大字の由来)



市内大字界

各町名の由来（大字小字の由来）

1



矢野口地区

17,441人
8,363世帯

「矢野口」の「ヤ」は谷間の湿地、「クチ」は入口を示し、南部の丘陵の間にある窪地などが地名の由来と言われており、梨とぶどうの栽培が盛んな地域です。市内最古の神社「穴澤天神社」があり、8月下旬の例大祭では「江戸の里神楽（国指定重要無形民俗文化財）」や「獅子舞」が奉納されています。「よみうりランド」があります。

2



東長沼地区

14,754人
6,811世帯

江戸時代から伝承される獅子舞が奉納される青渭神社があり、昔、その周辺に青く澄んだ形の長い沼があったことなどが地名の由来とされています。梨とぶどうの栽培が盛んで、4月上旬には市役所周辺で「三沢川 桜・梨の花まつり」が行われ、三沢川沿いの桜がライトアップされるため夜桜を楽しめます。観光情報を発信する「いなぎ発信基地ペアテラス」があります。

3



大丸地区

9,593人
4,843世帯

昔、古多摩川の船運の港があり、川沿いにあった大きく丸い低地の船着き場などが地名の由来とされています。約300年以上の歴史をもつ農業用水路「大丸用水」の起点となっており、支流を合わせると総延長は約70kmに及びます。一部で散策路が整備され、一年を通して街中に水路のある景観を楽しむことができます。

4



百村地区

5,392人
2,454世帯

地域の形が、「裳（も）」と呼ばれるヒダのある長いスカートに似ていることなどが地名の由来とされています。全国でも珍しい神仏混交の寺院「妙見寺・妙見尊」があり、8月7日には厄除け祈願の「蛇より行事」が行われています。茅（カヤ）をねじり合わせてつくられる大蛇は全長100～150メートルにもなります。南部には自然豊かな里山があります。

各町名の由来（大字小字の由来）

5  坂浜地区	自然豊かな多摩丘陵に位置し、傾斜地や三沢川の川岸にあることなどが地名の由来と言われています。地域住民が管理する上谷戸親水公園では、昔ながらの坂浜の景観が保全・復元され、様々な行事を体験することができます。端午の節句には一面中に鯉のぼりが掲げられ、5月下旬から6月上旬にかけてはホテルも鑑賞することができます。	6  平尾地区	「平尾」の「ヒラ」は傾斜地や平らな土地、「オ」は峰を示し、多摩丘陵の緩やかな傾斜の峰であることなどが由来と言われています。廃校になった小学校を複合施設「ふれんど平尾」として活用し、様々な市民活動の拠点となっています。11月上旬には、隣接する第三文化センターも会場となる「平尾まつり」が開催されます。
3,470人 1,550世帯		12,128人 5,993世帯	
7  押立地区	多摩川の堤防工事で大勢の人夫を押立てたことなどが地名の由来と言われています。江戸時代を通じた多摩川の度重なる氾濫で、川の流路が変わったことで南北に分断され、現在の稲城市押立と府中市押立の形になりました。多摩川沿いには約1 kmに渡るアカシア林が続いており、5月上旬には甘い香りがする白い花を咲かせます。	8  向陽台地区	多摩丘陵の南東斜面で太陽がさんさんと降りそそぐイメージから「向陽台」の地名になりました。1988年に稲城で最初の多摩ニュータウンとしてまち開きを迎え、多摩丘陵の斜面とまちが織りなす景観が評価され、平成7年度「都市景観大賞」を受賞しています。武蔵野の自然を活かした城山公園では、5月上旬に市民による「稲城手づくり市民まつり」が開催されます。
4,862人 2,151世帯		8,888人 3,658世帯	

各町名の由来（大字小字の由来）

9  長峰地区	長い峰の地形で、昔から地域にあった地名であることなどから「長峰」の地名になりました。豊かな自然を享受できる「ライフリゾート」のまちを目指し、1995年に稲城で2番目の多摩ニュータウンとしてまち開きを迎えました。住宅街に隣接して総合体育館と稲城中央公園があり、10月下旬に市内最大のイベント「Iのまちいなぎ市民まつり」が開催されます。
 4,559人  1,834世帯	

10  若葉台地区	緑の豊かな多摩丘陵にある新しいまちのイメージから「若葉台」の地名になりました。1999年に稲城で最後の多摩ニュータウンとしてまち開きを迎え、都市文化性を追求したまちには、学校を中心に住宅、駅、商業施設、公園を環状につなぐ歩行者空間があります。若葉台公園では、8月下旬に夏祭りが開催され、花火も打ち上げられます。
 11,804人  4,186世帯	

※人口及び世帯数は、令和3年10月1日時点

各町名の由来（大字小字の由来）

8



向陽台地区

 8,888人

 3,658世帯

○町名については、古い地名、文化財、神社、仏閣、地形など様々なジャンルから検討し

①向陽台②朝日ガ丘③百和台④緑ガ丘
の4つが候補になりました。

太陽がまち全体に照りつけるイメージから
「向陽台」に決まりました。

○古い地名などは、公園、緑地名で残していくこと
になりました。

各町名の由来（大字小字の由来）

9



長峰地区

 4,559人

 1,834世帯

○昔から残っている地名で、地形を表し、市内の地名とも違った固有の名称ということから決まりました。

各町名の由来（大字小字の由来）

10



若葉台地区



11,804人



4,186世帯

○地形の歴史、地理地形、将来の町のイメージなどから、緑豊かな新しい町にふさわしいという名称で決まりました。

旧町名

(矢野口・東長沼・百村京王線以南地区の小字)

矢野口・東長沼・百村京王線以南地区の小字



矢野口・東長沼・百村京王線以南地区の小字 ②右上



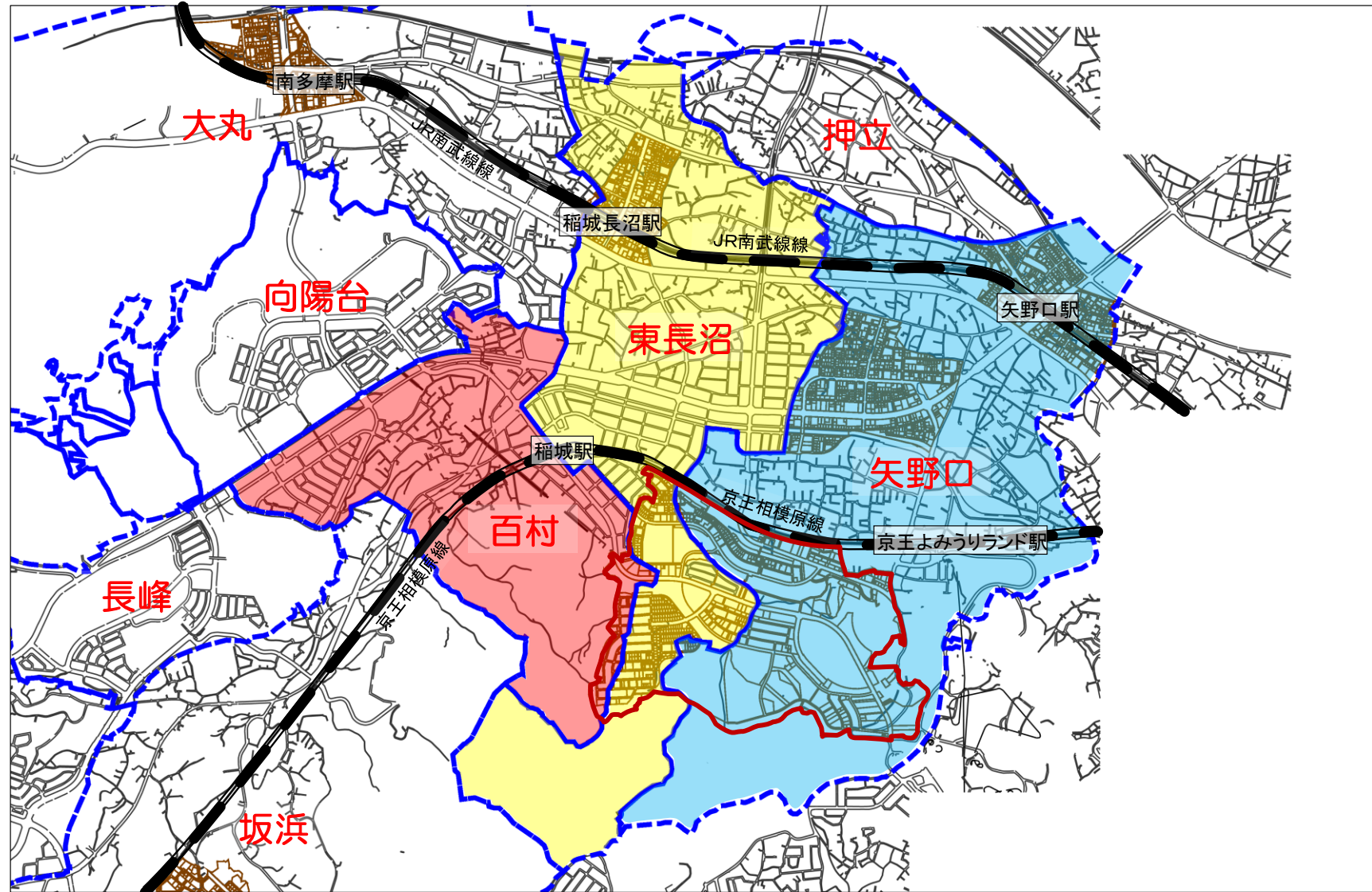
矢野口・東長沼・百村京王線以南地区の小字 ③左下



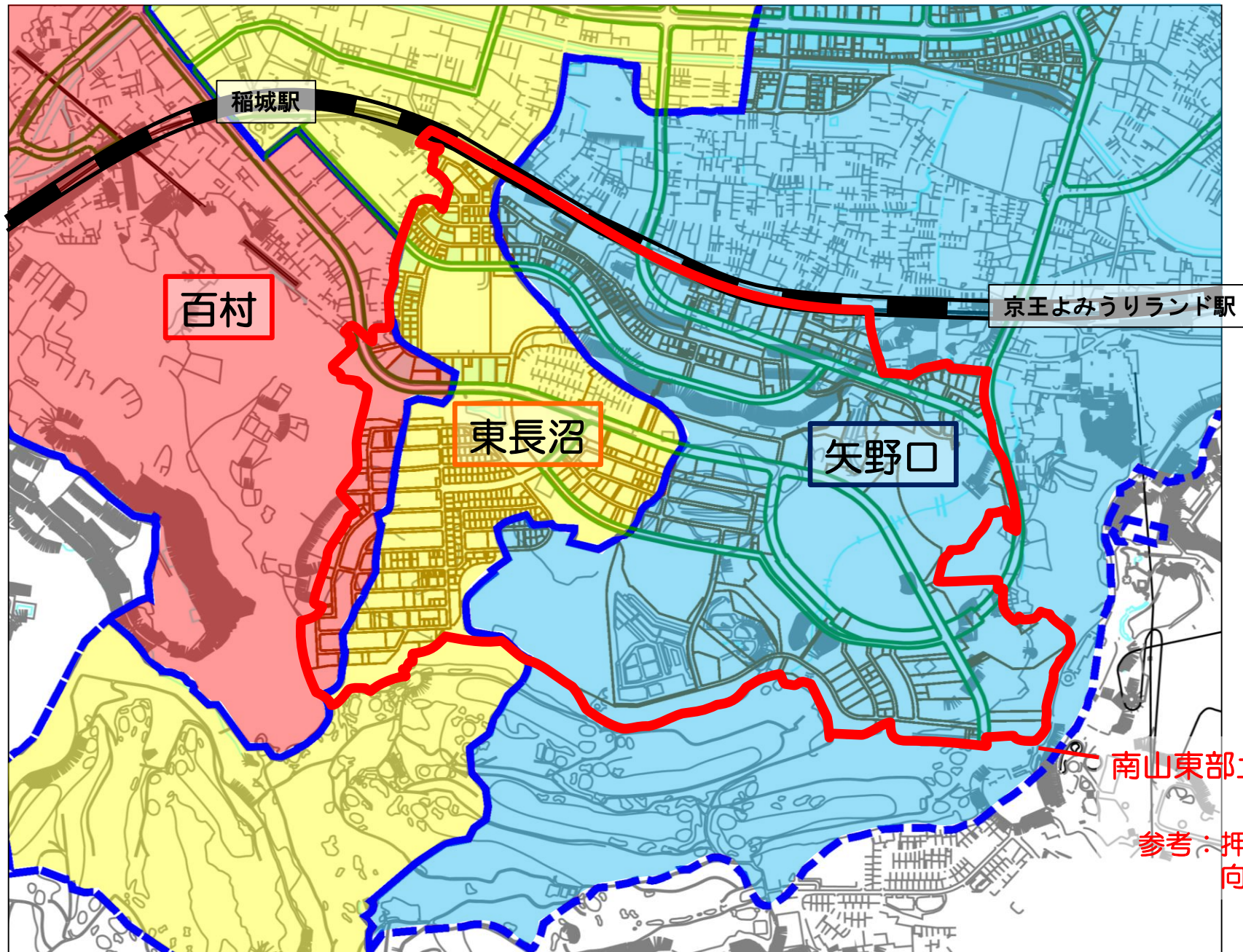
矢野口・東長沼・百村京王線以南地区の現状

地域の現状

矢野口・東長沼・百村 全体図



矢野口・東長沼・百村京王線以南地区の現状

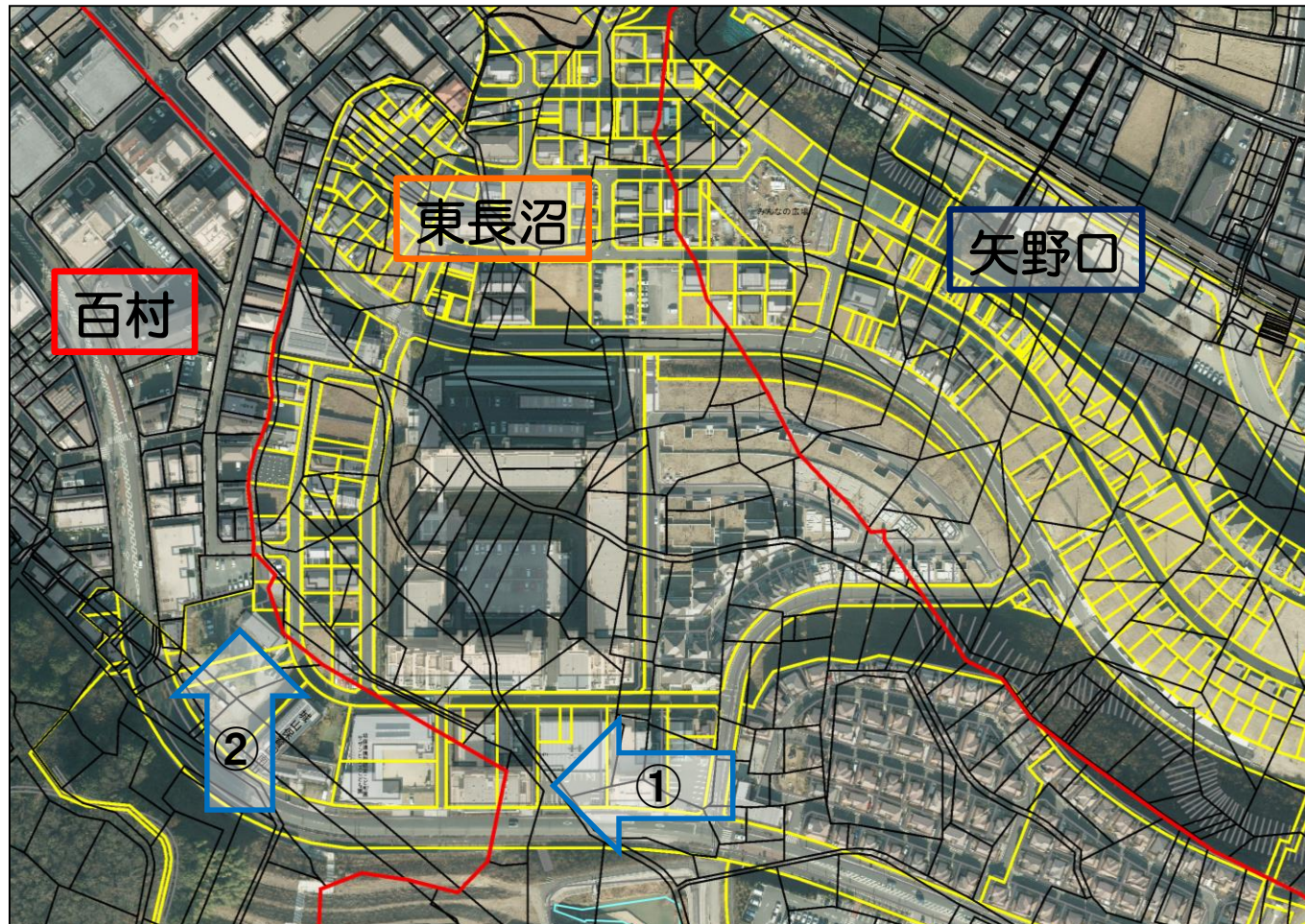


南山東部土地区画整理事業
約87ha

参考：押 立83ha
向陽台94ha

地域の現状 ～土地の形～

- ①オーベル稲城南山は、東長沼と百村の境に建っており、現在は百村の住所となっています。
- ②区画整理事業の区域境が、個人所有地の境となっており、将来もこの位置でよいのか検討する必要があります。



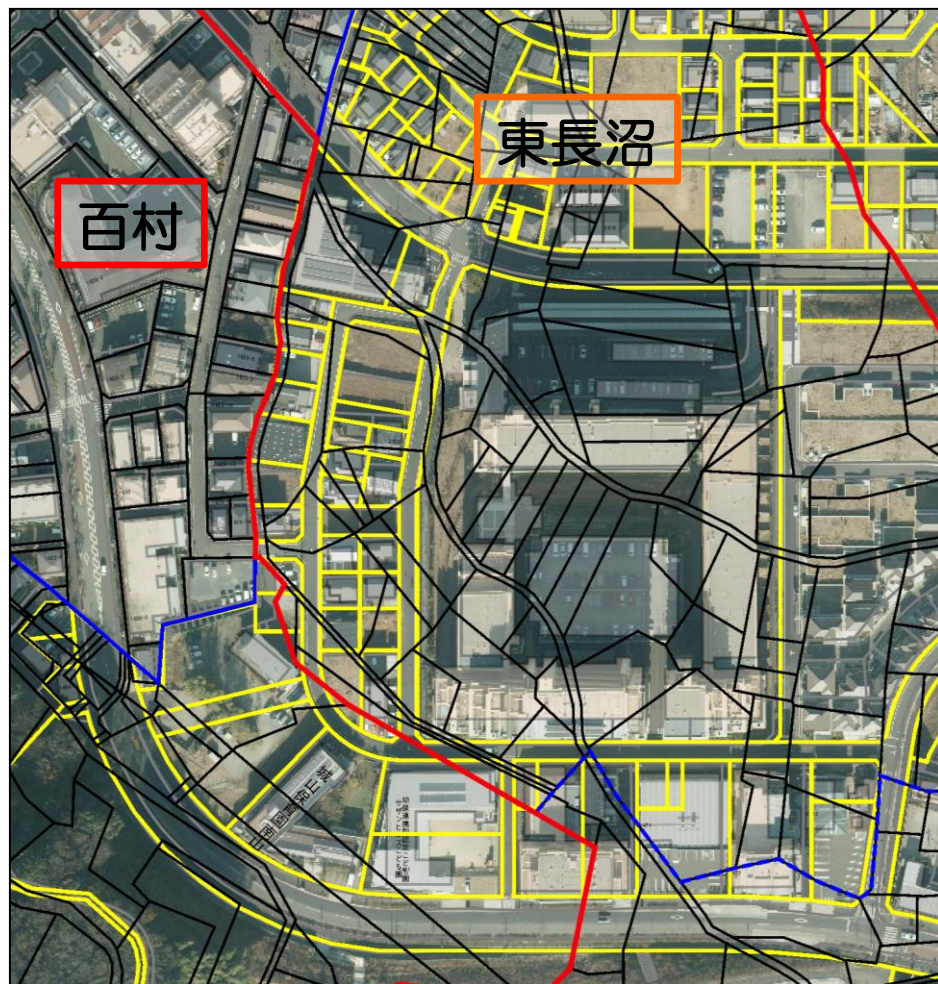
元々の土地の形（黒ライン）
区画整理後の土地の形（黄ライン）
大字界（赤ライン）

地域の現状 ～土地区画整理地内の暫定住所～

元々の土地の形（黒ライン）



区画整理後の土地の形（黄ライン）



区画整理が終わるまで、区画整理の土地境（黄ライン）に変更することができません。

そのため、現在の土地区画整理地内の住所は、『
『現在地番（黒ライン）
＋区画整理の街区番号』
を使用しています。

（例）保留地の場合

東長沼〇〇

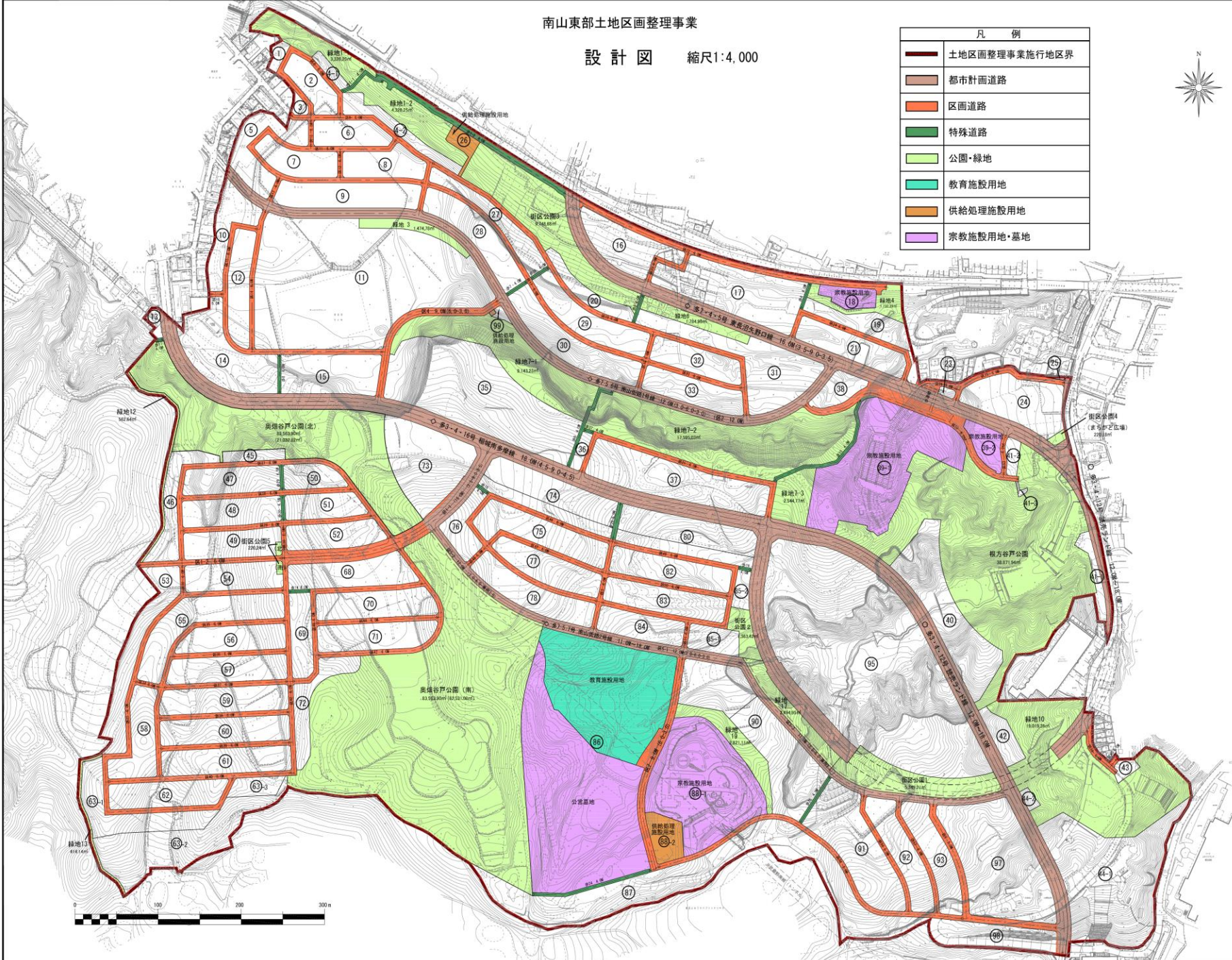
南山区画整理事業地内〇〇街区〇〇号

区域内で移転した場合、
従来の地番を使用したまま場所だけ変わります。

南山東部土地区画整理事業

設計図 縮尺1:4,000

凡 例	
	土地区画整理事業施行地区界
	都市計画道路
	区画道路
	特殊道路
	公園・緑地
	教育施設用地
	供給処理施設用地
	宗教施設用地・墓地



住所整理の進め方 今後の流れ

様々な住所整理のパターンを検討します。



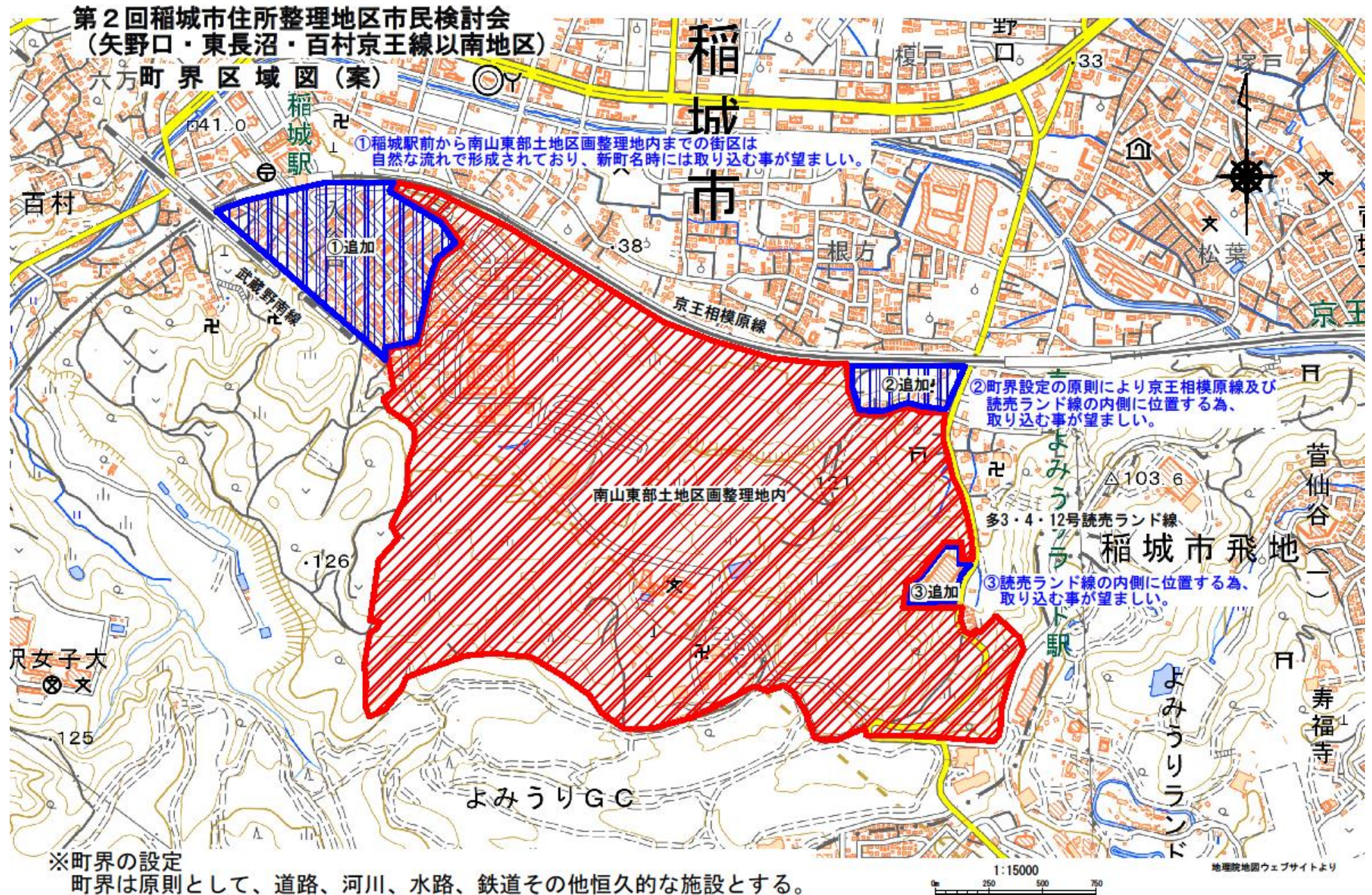
検討したパターンを基に住民アンケートを実施し、この地区に適した住所整理の方法を見出します。



実際の住所整理に向けた作業に入ります。

住所整理の検討パターン

石坂委員イメージ案（全体）



住所整理の進め方 検討パターン

種類	内容	課題等
①住所整理しない (区画整理区域のみ 地番を振り直す)	道路等を町界に設定し、現在使用していない地番を振ります。このため、矢野口・東長沼・百村各地区の住所整理はしないこととなります。	・ 現行町名は残りますが、同じ町名の中で飛び番が発生します。 ・ 町界が土地の境になる箇所が整理されません。
②現行町名を割り振る	区画整理区域内の道路等を町界に設定し、現行町名を割り振ります。 3地区の丁目の並びを決めるため、各地区に地区市民検討会を設置し、検討します。	・ 現行町名が残るため、混乱は少なくなります。 ・ 町区域の検討に時間を要します。 ・ 町界の設定によっては、町名が変更になる住居が発生し、その対象範囲の住民の理解が必要です。
③新町名を設定する (区画整理区域のみ)	区画整理区域内のみを対象に、新町名を設定します。	・ 区画整理区域との町界が土地の境のまま残り、住所整理の効果が低くなります。 ・ 町界がわかりにくいため、どこからが新町かわかりません。
④新町名を設定する (区画整理区域も含める)	京王線や道路等を町界に設定し、区画整理区域と周辺区域を含めて、新町名を設定します。	・ 新町名の区域の設定によって、矢野口・東長沼・百村各地区で町名が変更になる箇所が発生するため、住民の理解と協力が必要です。 ・ 町界を道路等に設定することで、町区域がわかりやすくなります。

※町名＝大字名

住所整理の進め方

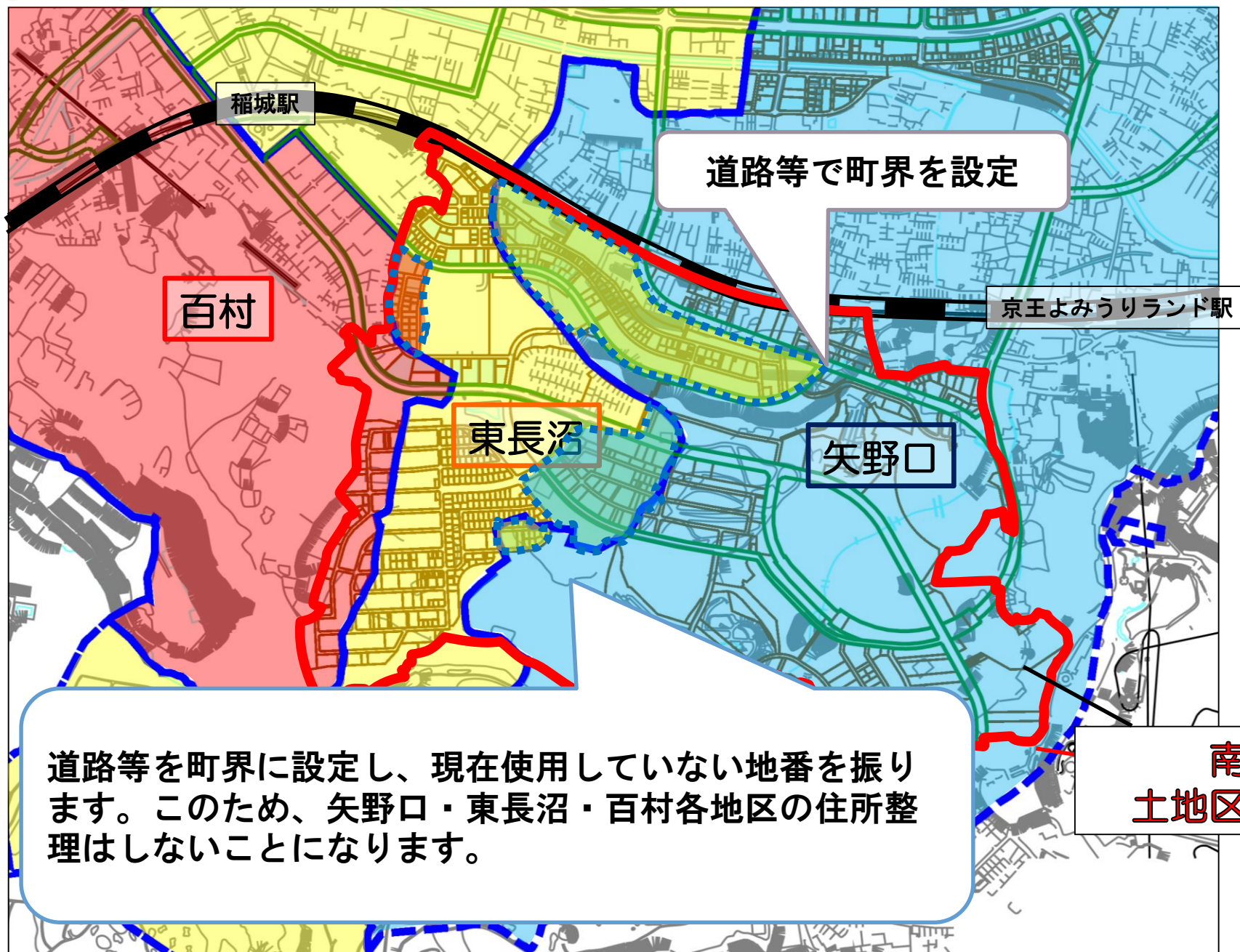
町名の設定

新たな町又は字の区域を定めた場合には、当該町又は字の名称は、できるだけ従来の名称に準拠して定めなければならない。

住居表示に関する法律（第五条２項）より一部抜粋

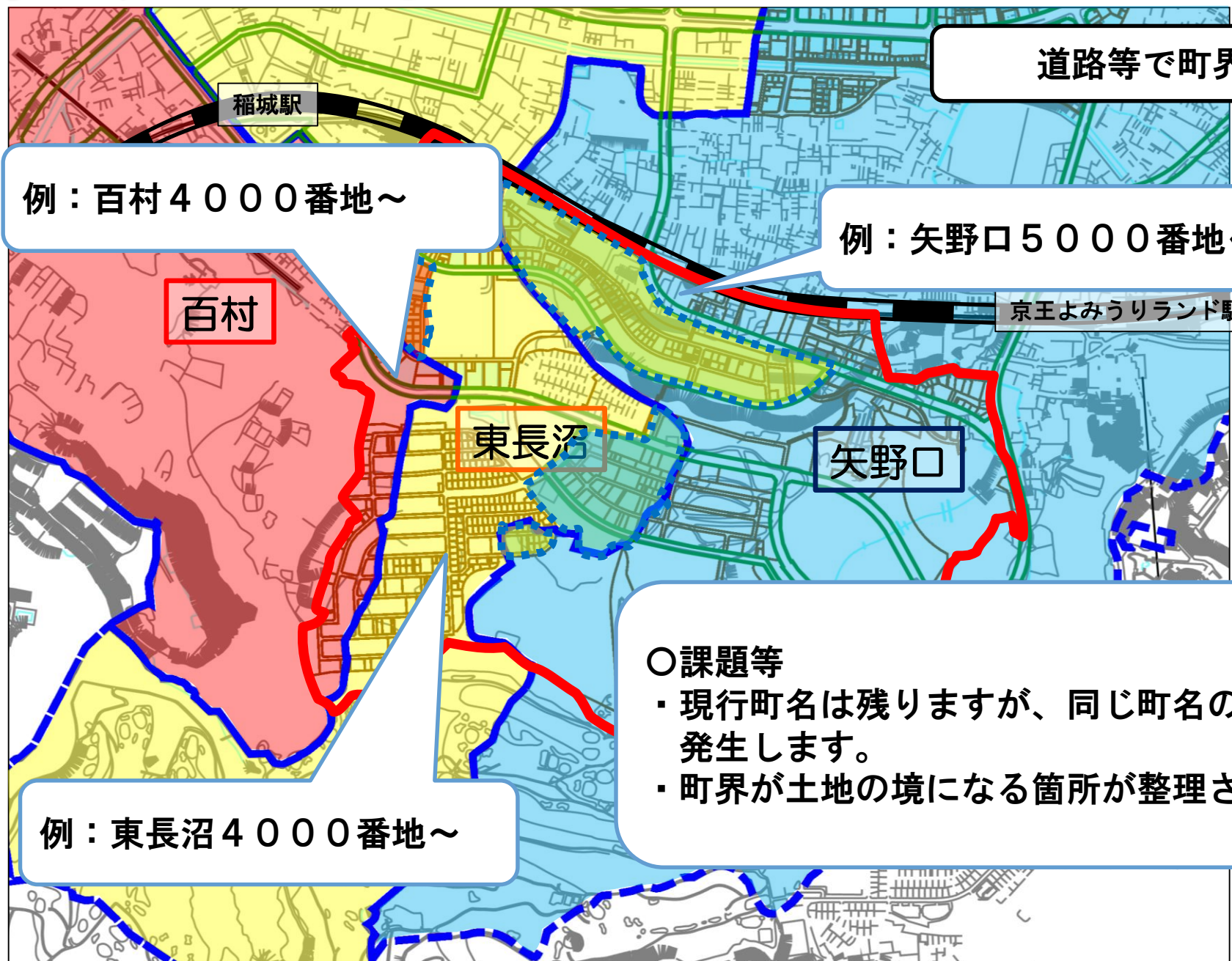
検討パターン

①住所整理しない（区画整理区域のみ地番を振り直す）



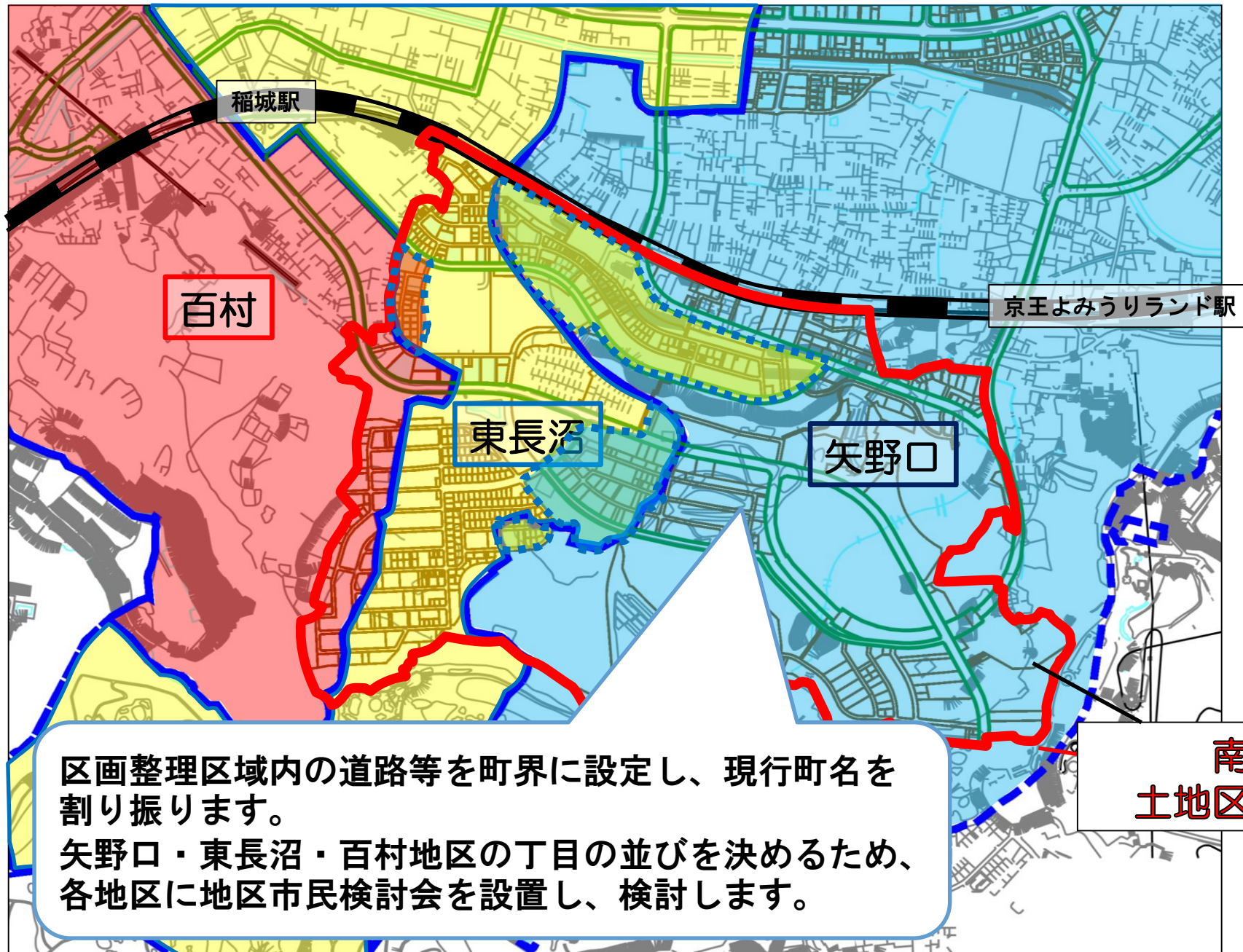
検討パターン

①住所整理しない（区画整理区域のみ地番を振り直す）



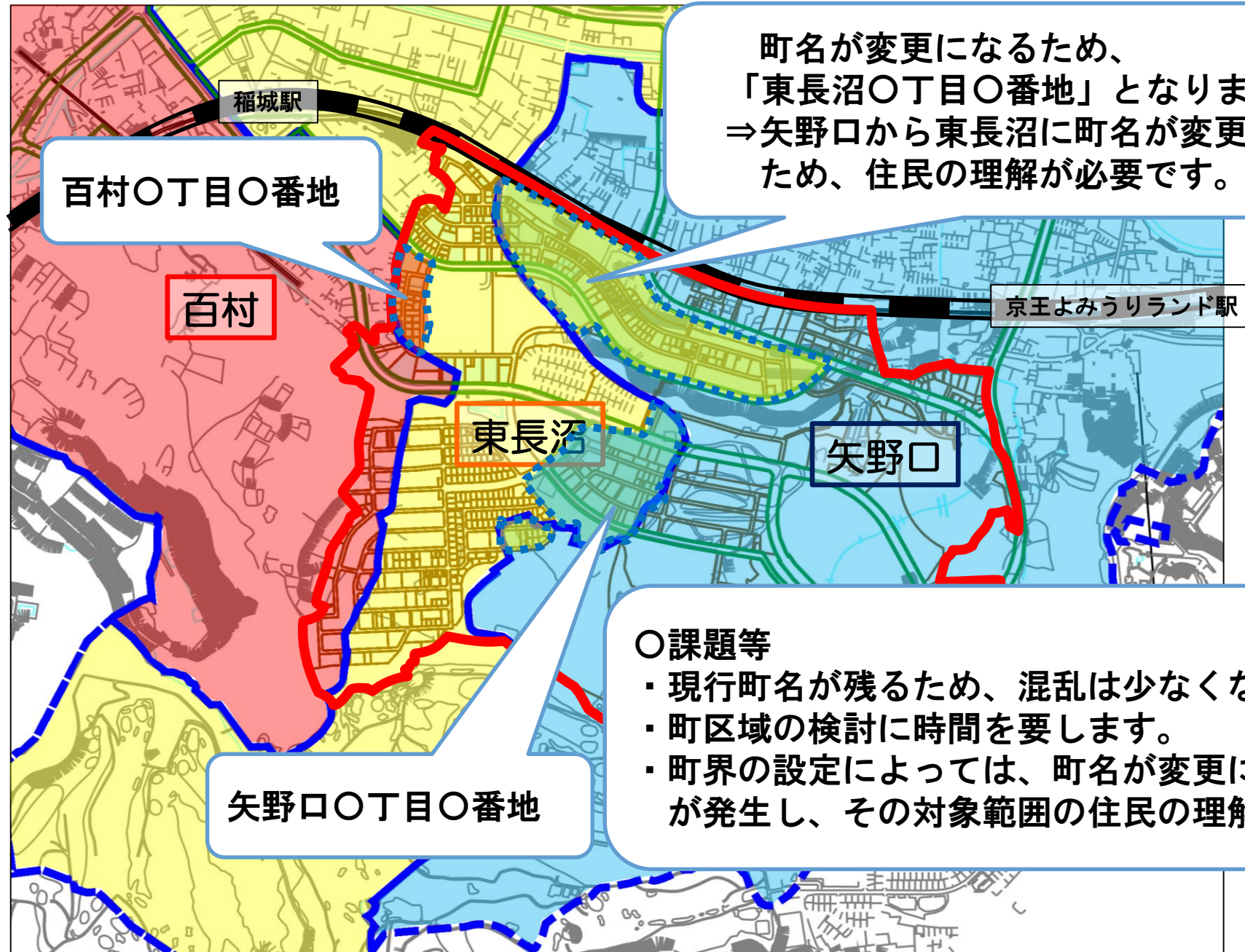
検討パターン

②現行町名を割り振る



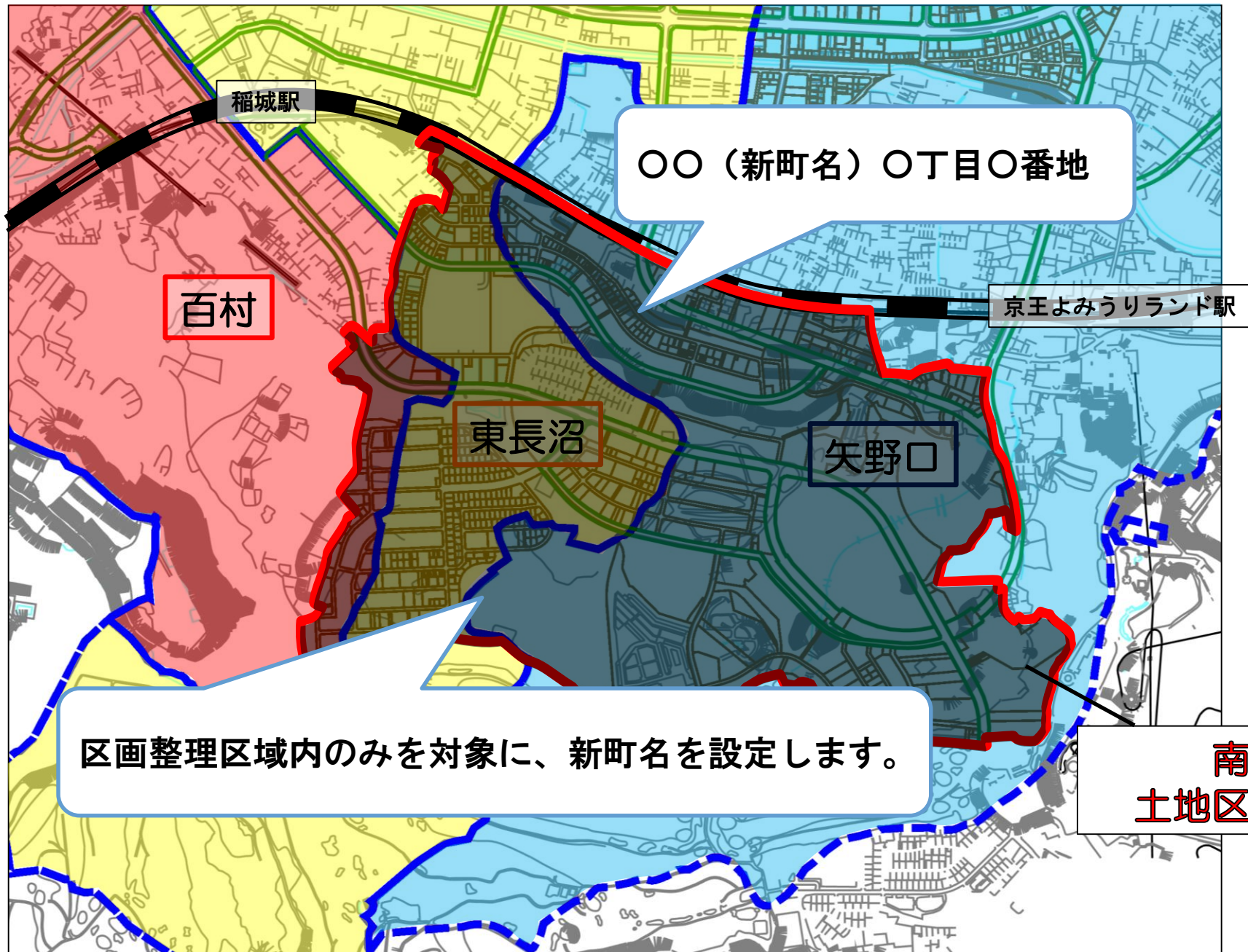
検討パターン

②現行町名を割り振る



検討パターン

③新町名を設定する（区画整理区域のみ）



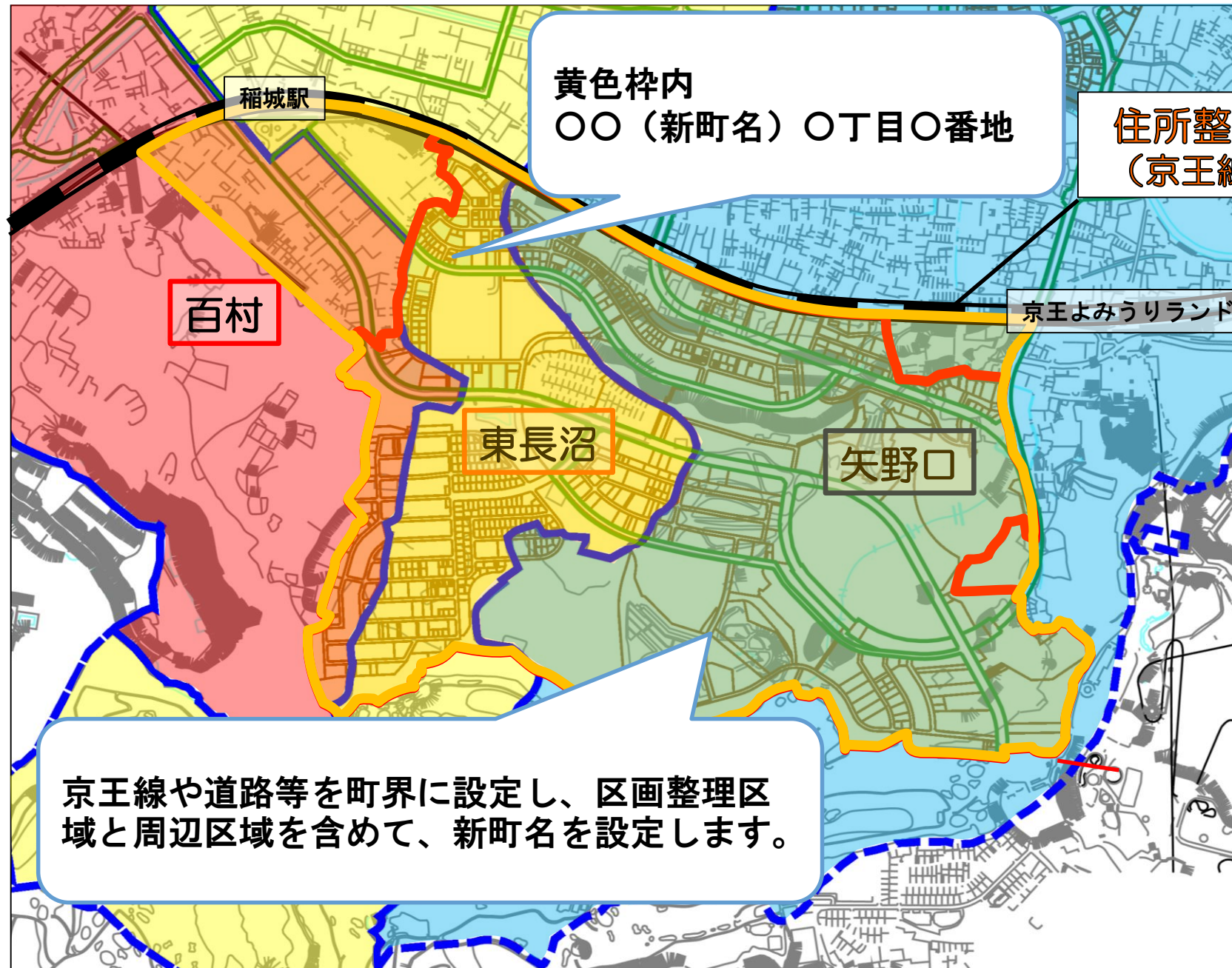
検討パターン

③新町名を設定する（区画整理区域のみ）



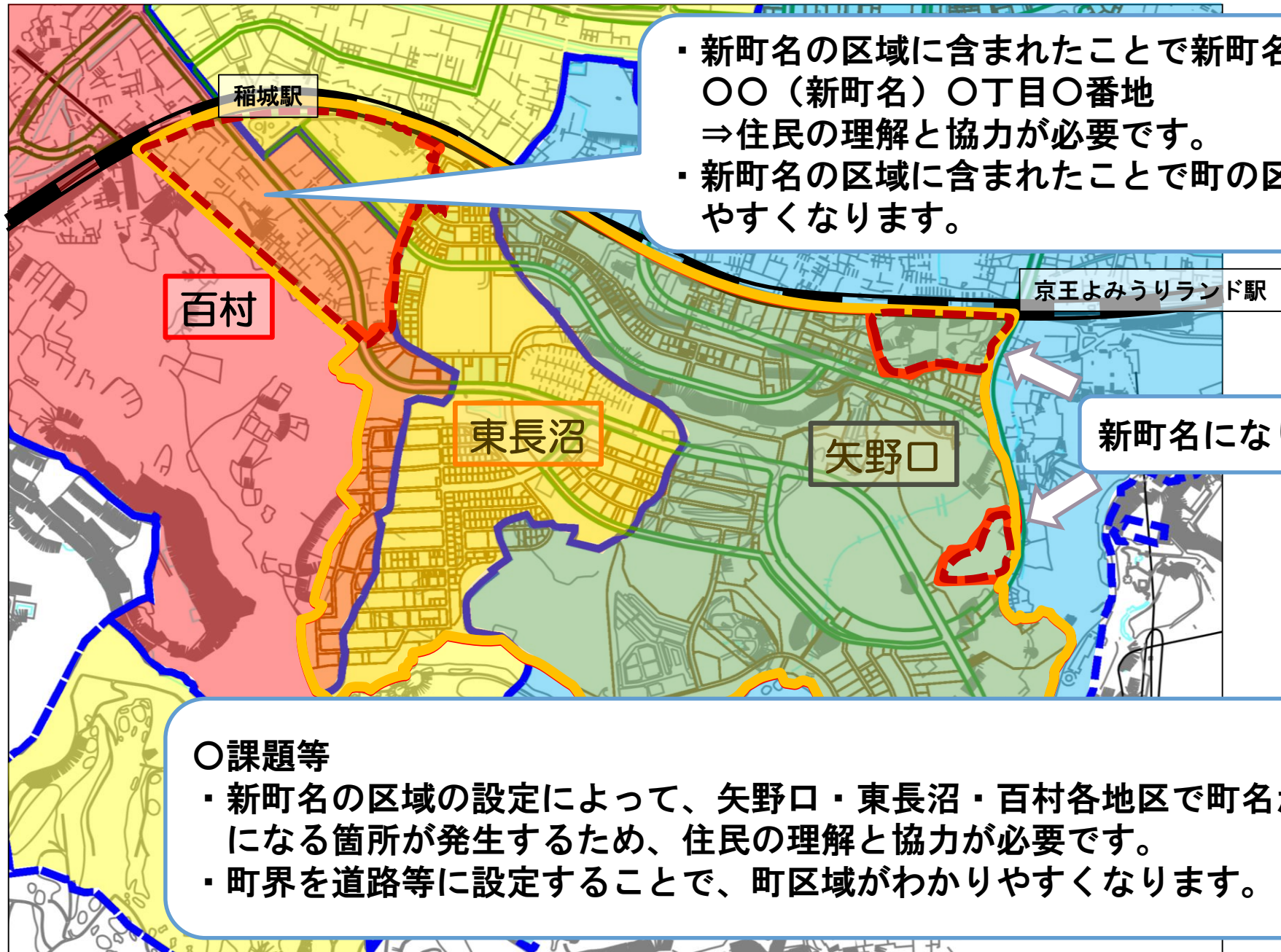
検討パターン

④新町名を設定する（周辺区域も含める）



検討パターン

④新町名を設定する（周辺区域も含める）



- ・ 新町名の区域に含まれたことで新町名になります。
○○（新町名）○丁目○番地
⇒住民の理解と協力が必要です。
- ・ 新町名の区域に含まれたことで町の区域がわかりやすくなります。

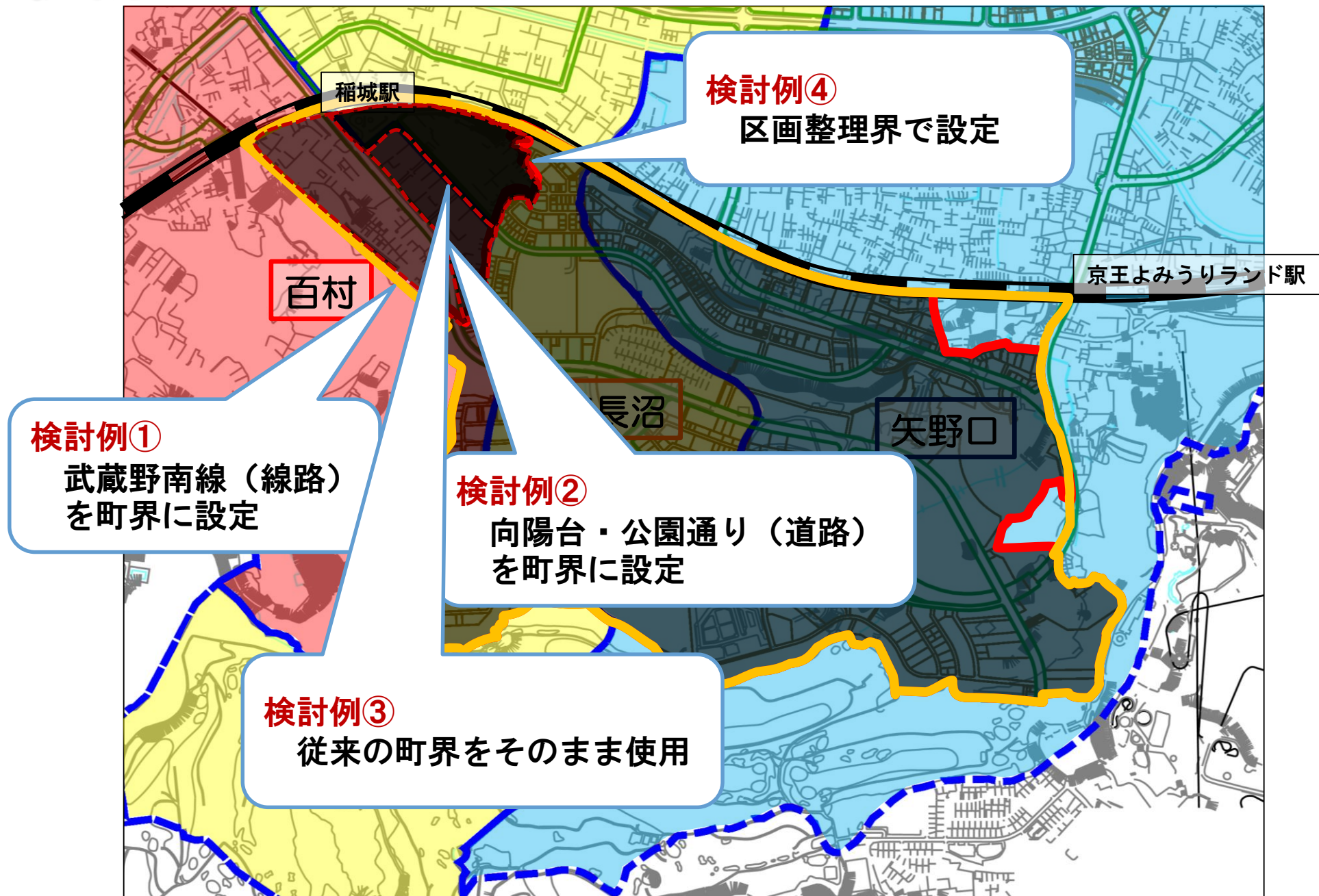
○課題等

- ・ 新町名の区域の設定によって、矢野口・東長沼・百村各地区で町名が変更になる箇所が発生するため、住民の理解と協力が必要です。
- ・ 町界を道路等に設定することで、町区域がわかりやすくなります。

検討パターン

④周辺区域の範囲

検討例（西側）



④周辺区域の範囲 検討例（西側）まとめ

①武蔵野南線



【特徴】

- ・鉄道で区切れ、町界がわかりやすい
- ・区整外で影響する範囲が大きい

②向陽台・公園通り



【特徴】

- ・鉄道と道路で区切れ、町界がわかりやすい
- ・区整外で影響する範囲がある

③現行大字(東長沼-百村)



【特徴】

- ・細街路や個人所有地で区切れ、町界がわかりにくい
- ・区整外で影響する範囲は東長沼に限定される

④区画整理界

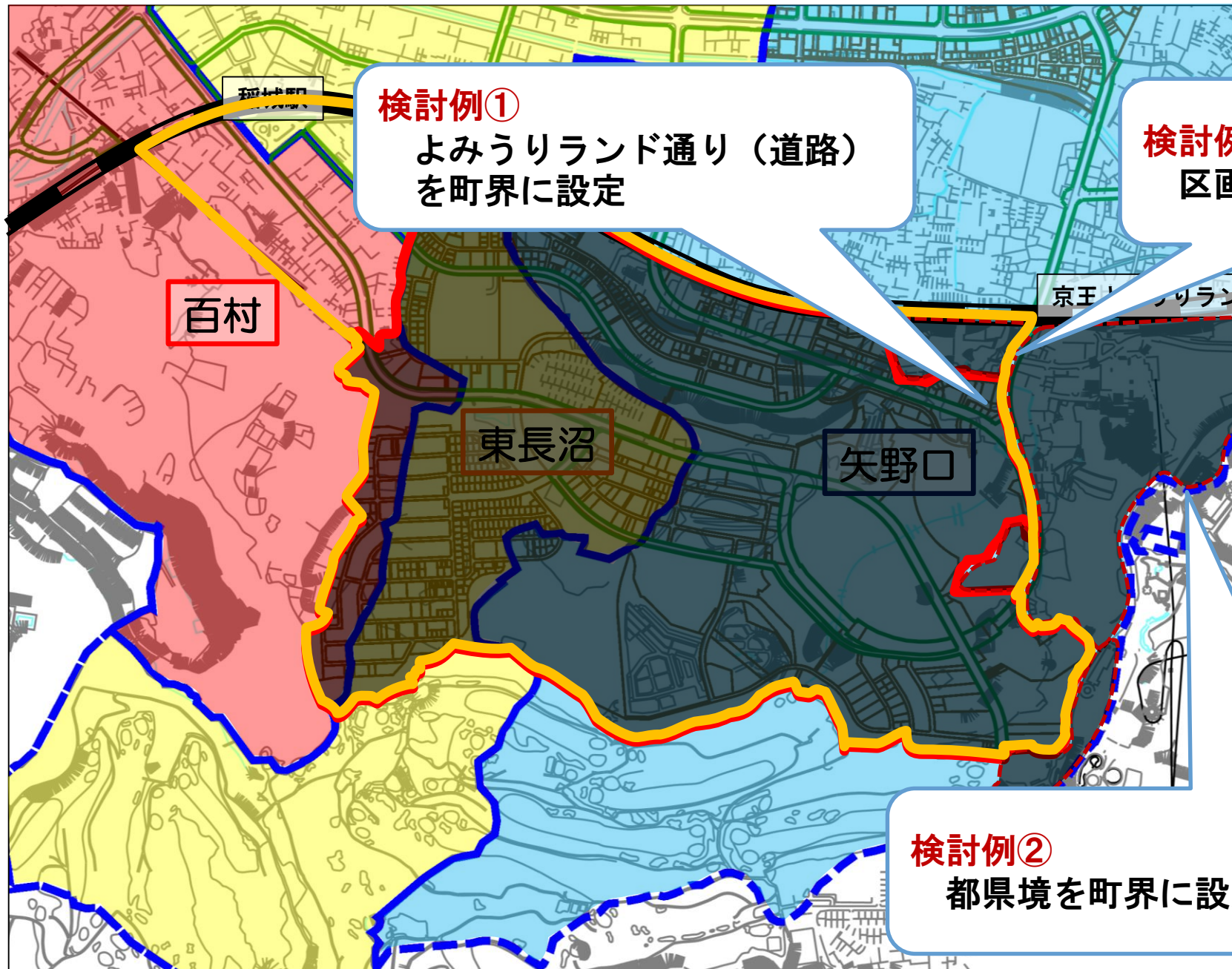


【特徴】

- ・区画整理界で区切れ、町界がわかりにくい
- ・区整外で影響する範囲はない

検討パターン

④周辺区域の範囲 検討例（東側）



検討例①

よみうりランド通り（道路）
を町界に設定

検討例③

区画整理界で設定

検討例②

都県境を町界に設定

④周辺区域の範囲 検討例（東側）まとめ

①よみうりランド通り



【特徴】

- 道路や都県境で区切られ、町界がわかりやすい
- 区整外で影響する範囲がある

②都県境



【特徴】

- 都県境で区切られ、町界がわかりやすい
- 区整外で影響する範囲が大きい

③区画整理界



【特徴】

- 区画整理界で区切られ、町界がわかりにくい
- 区整外で影響する範囲はない

住所整理の進め方

今後の流れ

様々な住所整理のパターンを検討します。



検討したパターンを基に住民アンケートを実施し、この地区に適した住所整理の方法を見出します。



実際の住所整理に向けた作業に入ります。